

No. 7-1

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 07 - 1

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 2		作成日		28年 5月 23日		
事務事業名		医療給付事業				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	保険年金課		係名	
		2-3 安心して子育てのできるまちをつくる					シート作成者			
	施策	2-3-1 子育て支援の充実				予算費目	会計		一般	
							款		3	
主要施策	④ 相談・援助体制の充実				項		1			
					目		5			
個別計画名										
住民との関わり		特になし								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	対象者は本町の区域内に住所を有する者で、15歳に達する日以後の最初の3月31日まで間にある「子ども」。			対象者の保健の向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		対象者に係る医療費のうち保険診療の一部負担金相当額を助成する。 なお、対象者のうち小学6年生まで（12歳になった日以後の最初の年度末まで）の子どもについては、三重県福祉医療費助成制度の補助対象となっています。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等		東員町福祉医療費の助成に関する条例 東員町福祉医療費の助成に関する条例施行規則								
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		195,281		194,256		201,213				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		73,403		73,966		77,592			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		0		0			
	一般財源		118,314		115,586		118,917			
直接事業費（千円）A		191,717		189,552		196,509				
人件費（千円）B		3,564		4,704		4,704				
内訳	一般職員（人・千円）		0.54 人 3,564		0.44 人 2,904		0.44 人 2,904			
	臨時職員（人・千円）		人 0		1.00 人 1,800		1.00 人 1,800			
成果指標	成果指標名			単位	27年度		28年度	29年度		
					目標	実績	（目標）	（目標）		
	①									
	②									
③										
説明		申請された助成対象については、全て助成を行っているため、本助成制度の成果指標は設定できないものと考えます。								

事業名		医療給付事業		シート作成課		保険年金課		
一次評価者		保険年金課長		二次評価者		生活部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三重県は平成24年9月診療分から対象者を小学校就学前までの子どもから小学6年生修了までの子どもまで拡大が実施されました。本町助成制度は三重県福祉医療費助成制度を活用するとともに、子育て支援として中学3年生修了までの子どもについても町単独で助成を実施しています。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	健康維持と経済的負担の軽減ができていると考えます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三重県福祉医療費助成制度にあわせた助成制度を適切に実施しています。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本助成制度の運営については、他の実施主体を活用することは不可能であり、町で実施すべき事業であると考えます。	
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>								
本助成制度は、子どもの医療費の一部を助成することにより経済的負担を軽減し、子育て支援を図るものです。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
今後の改革・改善目標	本助成制度をより推進するために制度周知に努めます。また、県に対して既存（小学6年生終了までの子ども）の助成制度から、対象年齢の拡充を求めていきます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
コメント	今後も持続可能な福祉施策として取り組む必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する			